

熊本大学医学部附属病院

研修医 石松 翔子 2016年9月

熊本大学医学部附属病院地域医療研修プログラムとして9月にお世話になりました、研修医2年目の石松翔子と申します。1か月間という極めて短い期間の中で、出水総合医療センターを中心に、野田診療所・高尾野診療所・保健センター・上場診療所にて研修させて頂き、本当にありがとうございました。

私は熊本県出身で、鹿児島は隣の県ではありますが、鹿児島には1度大学の時に友人たちと旅行で訪れたことがあるだけでした。地域医療をどの病院で研修するかを決めるときに、自分ではいまいち各病院での研修の違いが分からなかったため、周りの研修医の先輩に相談したところ、出水をお勧めする方が多かったので出水総合医療センターを選ばせていただきました。勧められたとおり、出水総合医療センターを選択してよかったと思っております。

私の地域医療研修はまず野田診療所からスタートしました。野田診療所では自分のこれまでの研修医生活の中で一番多く内視鏡やエコー検査をさせていただきました。ほぼ初心者に近い私でしたが、内村先生がマンツーマンで後ろからずっと指導してくださり、重要臓器を簡単にですが自分でみるできるようになったと思います。高尾野診療所では研修医生活で初めて外来診療をさせていただきました。定期フォローの方が主でしたが、そのような方をどのように診察するべきかが意外と分からず、時間がかかってしまい、患者さんをお待たせしてしまうことも多々ありましたが、西元寺先生のご指導の元、患者さん各々の診察の重要なポイントを考えて診察するようになり、まだまだではありますが最初に比べるとスムーズ外来を回せるようになったと思います。

上場診療所では身近に病院どころか医師がいないという正にへき地医療の在り方をみることができました。ほとんど医療器具がない状況で、問診と身体診察がいかに重要かということを確認しました。

院内研修では循環器内科を中心に、看護・臨床検査・臨床工学・リハビリテーション・医療安全管理・地域医療連携などの講義や体験をさせていただきました。循環器内科では初日から患者さんを2人もち、自分で治療方針を考えて先生に相談しながら治療を進めていくことができました。お忙しい中、検査手技や検結果、薬の選択も含めた治療方針などについて丁寧に教えていただき、大変勉強になりました。また、今までほとんどみる機会がなかった様々な職種の方々のお仕事についても講義・体験させていただきました。非常に貴重な経験をさせていただきました。

最後になりましたが、ご多忙の中、丁寧にご指導いただいた先生方、関係者の皆様方、誠にありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。今回経験したこと、学んだことを今後の自分の医師人生に活かせるように、これからも日々勉強を怠らず精進していこうと思います。